目次

1 キオクシアとは

3 ミッション・ビジョン
4 フラッシュメモリ・SSDのリーディングカンパニー
5 沿革
6 At a Glance

2 マネジメントメッセージ

8 社長メッセージ
11 会長メッセージ
13 財務統括責任者メッセージ

3 価値創造ストーリー

16 価値創造プロセス
18 特集：AI社会にキオクシアグループが創出する社会価値

4 成長戦略

23 市場・社会環境
25 キオクシアグループの強み
26 AI推論時代における成長戦略
27 事業活動

5 価値創造の源泉となる経営資本

32 フラッシュメモリ生産規模
36 テクノロジー
40 パートナーシップ
43 人材

6 ガバナンス

48 コーポレートガバナンス
55 リスクマネジメント・コンプライアンス
57 サステナビリティマネジメント

7 データ

62 財務ハイライト
63 非財務ハイライト
64 会社概要

本報告書のポイント

ポイント 1
AI推論時代における成長戦略や優位性について、トップマネジメントに加えて、事業、サステナビリティなどの各領域の責任者のコミットメントを交えて説明しています。

ポイント 2
価値創造プロセスを全体像と時間軸で説明し、当社グループが創出する社会価値、ミッション・ビジョンとの関係を整理しています。

ポイント 3
価値創造の源泉となる4つの経営資本、サステナビリティの取り組み、企業活動を支えるガバナンスについて簡潔に説明しています。

編集方針

報告対象範囲
キオクシアグループ
（キオクシアホールディングス株式会社および連結子会社）
※ 報告対象範囲が異なる事項については、対象となる報告範囲を個別に記載しています。

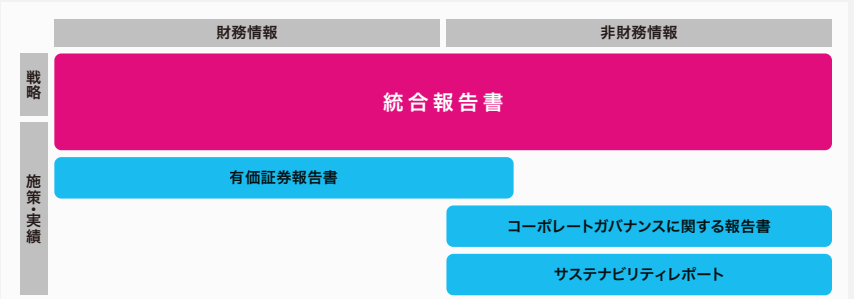
報告対象期間
2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日）
※ 一部、対象期間以前・以後の情報や、直近の活動報告も含んでいます。

会計基準
国際会計基準（IFRS）

参考ガイドライン
IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省「価値協創ガイダンス」、Global Reporting Initiative「GRIスタンダード」、Sustainability Accounting Standards Board「SASBスタンダード」など

将来見通しに関する注意事項
本報告書には、当社グループの過去と現在の事実だけでなく、将来の戦略や予想なども記載しています。これらは制作時点で入手できた情報に基づく将来の予測であり、実際にはさまざまな要素により、事業活動の結果や業績がこれらの見通しとは異なる可能性があります。

情報開示体系図



※ 本文中に記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

Section

1

キオクシアとは

3 ミッション・ビジョン

4 フラッシュメモリ・SSDのリーディングカンパニー

5 沿革

6 At a Glance

ミッション・ビジョン

ミッション
Mission

「記憶」で世界をおもしろくする

「記憶」の可能性を追求し、新しい価値を創り出すことで、
これまでにない体験や経験を生み出し、
世界を変えていく

ビジョン
Vision

「記憶」の技術をコアとして、
一人ひとりの新たな未来を実現できる製品やサービス、
仕組みを提供する

社名の由来

KIOXIA

キオクシアとは、日本語の「記憶（KIOKU）」と、
ギリシャ語の「価値（AXIA）」に由来します。
人々や社会が生み出す「記憶」で、新しい価値を創り出し
世界を変えていく存在になりたい。そんな想いがこの社名には込められています。

フラッシュメモリ・SSDのリーディングカンパニー

フラッシュメモリは、大容量のデジタルデータを記憶・保持できる半導体メモリで、電源を切ってもデータが消失しない「不揮発性」という特性を持つ点が最大の特長です。

キオクシアは1987年に「NAND型フラッシュメモリ」を発明しました。この革新的な技術を皮切りに、2007年には世界で初めて3次元フラッシュメモリ技術「BiCS FLASH™」を発表。BiCS FLASH™を搭載したSSDの開発も開始しました。40年近くにわたり先端技術の開発を重ね、フラッシュメモリ・SSD分野のリーディングカンパニーとしての地位を築いてきました。

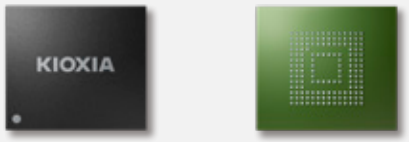
キオクシアグループのフラッシュメモリ・SSDは、スマートフォン、PCなどのデジタルデバイス、クラウドサービスを支えるデータセンターなどで活用され、デジタル社会の発展を支えてきました。現在はAIの活用が進み、社会の基盤となっていく中で、欠かせない基盤技術として、その重要性が日々高まっています。



キオクシアグループの製品

メモリ

スマートフォン、タブレット、車載・産業機器向けなど、幅広いニーズに応える多彩なフラッシュメモリ製品を提供しています。また、フラッシュメモリをベースとした、低遅延、高性能を特長とするストレージクラスメモリを展開しています。



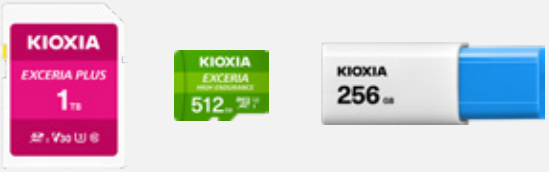
SSD（Solid State Drives）

AI向けデータセンター、エンタープライズSSD製品に注力しています。クライアントPCからエンタープライズサーバー、クラウドデータセンターに至るまで、幅広い市場向けのSSD製品を提供します。個人向けのSSD製品も取り揃えています。



SDメモリカードなどリテール向け製品

デジタルカメラ、スマートフォン、ドライブレコーダーなど向けのmicroSD/SDメモリカードと、さまざまな容量やデザインを展開するUSBフラッシュメモリを取り揃えています。



沿革

キオクシアグループは、1987年のNAND型フラッシュメモリの発明以来培ってきたフラッシュメモリ・SSDの技術と、それを支える人材を礎に、社会のデジタル化・高度情報化を支える企業としての使命を担ってきました。現在ではグループ全体で約1万5千人の従業員を擁し、2025年度の連結売上収益は2兆円を超える規模へと拡大しています。

今後も、技術の進化を追求し、AIが基盤となる情報社会の持続的な発展と、人々のより豊かで便利な暮らしの実現に貢献していきます。

1987
世界初
NAND型フラッシュメモリの発明

1991
世界初
NAND型フラッシュメモリを製品化



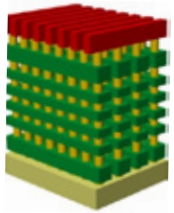
1992
四日市工場設立



2000
SDメモリカードを製品化

2005
300mmウエハーに
対応した生産を開始

2007
世界初
3次元フラッシュメモリ技術
「BiCS FLASH™」を発表



2008
世界初
MLC NANDを搭載した
SATA SSDが
ノートPCに採用

2015
世界初
48層積層プロセスを用いた
BiCS FLASH™を製品化

2017
東芝メモリ(株)発足

2018
東芝グループから独立

2019
3月
東芝メモリホールディングス(株)設立
10月
キオクシアホールディングス(株)
に社名変更

2020
台湾・LITE-ONテクノロジー社の
SSD事業を買収
北上工場での生産開始



2022
中部東芝エンジニアリング(株)
を子会社化

2023
横浜テクノロジーキャンパス
Flagship棟と
新子安テクノロジーフロントの
稼働を開始

2024
東京証券取引所プライム市場に上場



2025
第10世代
BiCS FLASH™技術
を発表

売上収益
2兆3,376億円

社会変化

1980年代	1990年代	2000~2010年代	2020年代
デジタル化の起こり	インターネット普及	デジタル社会高度化	AI社会の発展

※ 売上高について 会計基準の違い等による調整を行っていません。2001～2016年度：(株) 東芝のメモリ事業の売上高、2017年度：旧東芝メモリ (株) の売上高、2018年度：旧東芝メモリ (株) および東芝メモリホールディングス (株) の売上高の単純合算。

At a Glance

キオクシアグループは、テクノロジー（技術力）、スケール（生産規模）、パートナーシップ、それらを支える人材を競争力の源泉として、フラッシュメモリ・SSDのテクノロジーリーダーとしてAIが基盤となるデジタル社会の発展に貢献します。技術革新のスピードが速く競争の激しいフラッシュメモリ市場において、成長機会を捉えて中長期的な企業価値向上を目指します。

フラッシュメモリ生産規模

売上収益
（2025年度、連結ベース）

2兆3,376億円

AI向け・エンタープライズデータセンターが牽引するフラッシュメモリの需要拡大を的確に捉え、記録的な売上収益、営業利益を達成しました。

フラッシュメモリ生産量 世界シェア
（記憶容量ベース、2025年度）



当社グループと、米国Sandiskグループとの製造合弁会社分を合わせて世界最大級のシェアを有しています。

出典：TechInsights Inc.
「NAND Market Report Q1 2026」

四日市工場、北上工場が連携した スマートファクトリー

AI、ビッグデータを活用して両工場が高度に連携。高い生産効率を実現して拡大するフラッシュメモリ需要に対応します。

パートナーシップ

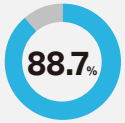
グローバルネットワーク



9の国・地域に展開

日本、米国、欧州、アジアに販売・顧客サポート拠点を有します。国内外の拠点が強力に連携して、市場ニーズに応える製品を届けます。

海外売上比率
（2025年度）



世界各地のデータセンター、スマートフォン、PC分野のリーディングカンパニー、ビジネスパートナーとの強固な関係を構築しています。

顧客、研究開発パートナー、調達取引先との 強固なパートナーシップ

強力なパートナーシップをさらに発展させ、社会ニーズを先取りした製品・サービスの実現と、高品質な製品の安定的な供給で、持続的に社会に価値を提供します。

テクノロジー

研究開発費
（2025年度）

1,411億円

AIシステム向けをはじめとした先端開発を強化し、技術リーダーシップを堅持します。

「Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター2026」受賞

継続的な知的財産活動の取り組みが評価され、クラリベイト社が世界で最も革新的な企業・機関を選出する本賞を5年連続で受賞しました。

登録特許数
（2025年12月時点、キオクシア（株））

約15,000件

知財ポートフォリオの強化や、知財インテリジェンスの強化に注力しています。顧客や競合企業の多くが海外にあり、海外での特許出願も重視しています。

人材

連結従業員数
（2026年3月31日現在）

15,218名

多様なバックグラウンドを持つ従業員が個々の強みを活かして活躍しています。

新卒採用者数
（2026年4月1日入社、キオクシア（株）および国内グループ会社）

476名

多様な人材を積極的に採用し、従業員一人ひとりが能力を発揮できる仕組みのもとに育成に注力しています。

キャリア採用者比率
（2025年度、対採用者数、キオクシア（株））

63.6%

多様な知見を取り入れ、革新的なアイデアが生まれる環境づくりに注力しています。